

# 環境に係る情報協議会

## 国営農地再編整備事業 雨竜暑寒地区

### 1. 事業の概要（案）

#### ◆事業の目的

本地区の農地は、ほ場が小区画で排水不良等が生じているとともに経営農地が分散している。そのため、生産性が低く農業経営は不安定なものとなっている。

このことから本事業では、区画整理と農地造成を一体的に施行し、生産性の高い基盤の形成と土地利用の整序化を通じ、農業経営の合理化と効率的な土地利用を図り、農業の振興を基幹とした本地域の活性化に資することを目的としている。

◆ 受益面積 916ha

◆ 主要工事計画

区画整理	910ha
農地造成	6ha

### 2. 雨竜町の環境に対する考え方（雨竜町農業農村整備環境対策計画より）

#### ◆ 農村環境の現状と課題

##### 《現 状》

○雨竜町の西部には暑寒別岳を主峰とする増毛山地があり、雨竜沼湿原（ラムサール条約登録湿地）を中心とした暑寒別天売焼尻国定公園を有する山岳地帯となっている。

暑寒別岳山麓から雨竜川に緩やかに傾斜した地形を形成しており、東部一帯は平坦肥沃な農用地が拓けた田園地帯である。

##### 《課 題》

- 秩序ある土地利用
- 田園景観の保全
- 周辺環境や自然環境との調和

#### ◆環境保全の基本的考え方

- ・人の健康の保護及び農村の生活環境の保全が図られ、健康で快適な農村環境を保全するため、河川、湿原、森林などの自然環境に配慮する。
- ・人と自然が共生する豊かな環境を実現するため、野生生物の種の保存、その他の生物の多様性の確保や森林、農地、水辺等における多様な自然生態系・農村空間の保全に配慮する。
- ・潤い、安らぎ、ゆとり等の心の豊かさが感じられる社会の実現に向け、身近なみどりや水辺との触れあいづくり等について配慮するなど、農村景観の保全に努める。

### 3. 事業における環境との調和への配慮方針

#### ◆基本方針

本地域の河川や排水路等の水辺及び農地と隣接する河岸段丘等の緑地には、希少種を含む多様な動植物が生息・生育している。また、水田の中に家屋が点在し、四季折々の変化に富んだ自然豊かな田園風景を形成している。このことから、事業実施にあたってはこれらの生息・生育環境や景観に配慮した整備を進める。

##### I. 生物の生息・生育環境の保全

###### ① 水生生物の保全

排水路の整備にあたり、魚類、両生類等の生息環境の保全・確保に配慮する。

###### ② 水質の保全

工事中における、下流河川の魚類等生息環境に配慮し、濁水流出防止に努める。

##### II. 景観的配慮

離農農家の廃屋を地域住民が主体的に撤去し、効果的な区画整理工事（田寄せ・畑寄せ等）による、地域農村景観に配慮する。